

Now

Vol. 22

2022.1.1 発行

特集：発見

公益社団法人 三田市シルバー人材センター

水平線の向こうの憧れ…



足元の宝物…

砂浜から顔をのぞかせる流木
流れに身をまかせてまるまった石
宝石のようなビンのかけら
波打ちぎわの貝殻
暇にまかせてブ〜ラブラ
気になるモノを拾い集める
「ビーチコーミング」
ちょっとした宝探し気分
どこから流れ着いたのか
眺めながら思いをめぐらす
お気に入りが見つかるかといいな



見方、考え方で**大発見!**

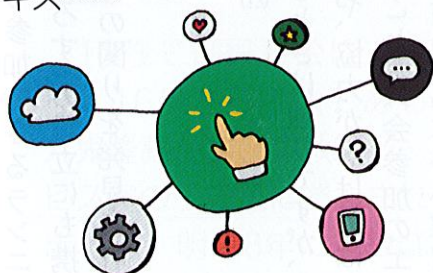
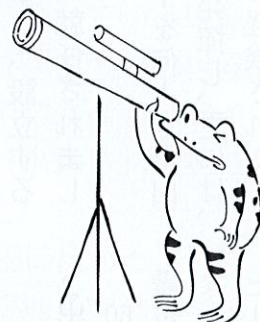
「発見」…「冒険」や「宝探し」と言った言葉を連想すると、ワクワクする人も多いことでしょう。新星や新元素、深海魚や昆虫などの新生物、まだまだ広い世界には、未知のモノがあることへのロマンを感じずにはいられません。実際のところは、そういった学術的な「発見」に関われるのは、ごく一部の専門家たちの特権のようで、歴史的な「発見」の機会に、一般人が立ち会うことは、残念ながらほぼなさそうです。

でも、今までズーっと目の前にあったのに気が付かず、ちょっと見方を変えてみたり、考え方を変えてみたりして見つかる小さな「発見」は、ひょっとしたら意外と身近にあるのかも知れません。駅前の商店街で新しいスイーツのお店を発見!……も、身近な発見と呼べるのではないのでしょうか? ささやかとは言え、なかなか嬉しいもんです。

そうすると、化学や物理、深海や宇宙に行かなくても、そこかしこに「発見」が身近に転がっていることになるので、普段からの観察力、情報収集が必要です。

皆さんは、最近なにか「発見」されたことはありますか?

新製品の発売、奇妙な健康法、知らなかった路地、家族の隠された一面、知らぬ間にできたキズ……



広範囲から情報を収集するには、昔からの新聞、テレビ、ラジオに留まらず、インターネットを介せば、あふれるばかりの情報にいつでも手が届く状態です。

あとはその中から新たな「発見」を見つけることとなりますが、その作業がこれまた大変です!!

…これでは、情報の深海に潜っているのと同じことか…などと新たな発見への情熱が薄れてしまいそうです。

ではでは、もっと身近なところで、自分自身を見つめ直して「発見」というのはどうでしょうか?

自己啓発、自分探しの一人旅、新たなことへの挑戦などで、自身を再発見するきっかけになるかも知れません。

年齢を重ねると共に、自身のスタイルが固まってしまって、なかなか今までとは違った自分を発見することが出来にくくなる、と言うこともあるかもしれませんが、何気ない日常の中でふとしたことから見つかることもあるのではないのでしょうか。

意外と、お風呂で寛いでいるとき「ハッ!」と気づくこともあったりして。



ご自身の経験や才能に思いがけない「金塊」が眠っているかも知れませんね。

平凡な主婦が自身の可能性を発見することで、マルチに活躍する「スーパーレディー」に転身した、山田美由紀さんをご紹介します。

♪始まりはマラソン

20〜30代は、子育てや家事に追われ自分の時間を忙殺される日々でしたが、40代にふとしたきっかけで、マラソンを始めることとなりました。

自己流ではありますが黙々とトレーニングを重ね、オリンピック選考レースに参加するほどの記録を残すようになり、走ることへの喜びを発見されました。



♪二束のわらじ

国際女子マラソン13回連続出場をはじめ、ランナーとして数々の実績を残す傍ら、50代で市民ランニングチーム「三田アスリートX(エックス)」を、設立することとなり、選手兼任監督に就任されました。

その後は、実力のあるランナーを何人も輩出される監督としての手腕を発揮し、更には、障害者の伴走ボランティアを経験されたこ

とから、障害者も参加できるランニングチーム「さんだくろす」の設立にも携わり、新たなマラソンとの関りを発見されることとなりました。

♪広がる行動範囲

ランナーは走るときは独りですが、日頃から周囲の理解や、協力がなければ実力を発揮できないこと、大会参加のエントリー方法や、出走前の不安など、健常者も障害者も同じ悩みを抱えていることに基づき、障害の有無に関係なく、家族や周辺の人々にランナーへの理解を呼び掛けたり、障害者のことをもつと社会に理解してもらおうと、世界自閉症啓発デー「ライト・イット・アップ・ブルー」をはじめとする、PR活動に参加するようになりました。

そうした活動の繋がりで、2020東京オリンピック聖火ランナーに選ばれ、貴重な経験をされることにもなりました。



♪出会いと行動 新たな発見

60代のある日、友人に強引に誘われて、震災のあった東北南三陸を訪れることとなりますが、そこでは、震災遺構を目の当たりにし、語り部ガイドの体験を聞き、復

興に取り組む若者たちと触れ合ったことで、防災への興味が湧いてきたそうです。

また、岡山県で災害ボランティアに参加された際には、女性の防災士の存在を初めて知り、防災や備災に強い思いを抱く自分を発見することとなりました。

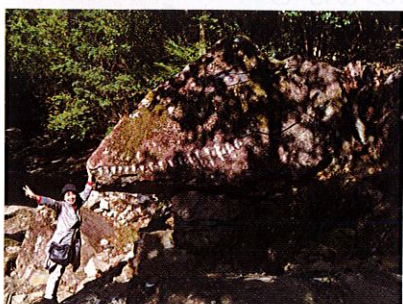
現在は、防災リーダー講習を受講し、防災士の資格取得に向けて、研鑽を重ねる毎日だそうです。

♪果てなきゴール

「過去と他人は変えられないけど、未来と自分を変えられる」がモットーで、常にパワフル頼まれたことは断れない、何にでも前向きな行動派です。

鉄砲玉のように飛び出しては、何かを巻き込んで帰ってくる事も日常茶飯事なのですが、それも温かい見守りがあるからこそと、家族や仲間感謝されています。

シルバー人材センターへの入会も、前号の「NOW」を見て「入りたい！」とすぐに行動をされたそうで、現在は広報誌配布等で活躍されています。今でも続けられているランニングとともに、山田さんの新たな発見はまだ続きそうです。



三田焼の父

小西 金兵衛

赤絵や染付の装飾などが特徴的な「三田焼」は三田青磁の原点ともいわれ、宝暦年間（1750年～）に、今の三田市志手原で始まり、その窯を最初に築いたのが小西金兵衛といわれています。

金兵衛以降、代々、小西家は窯業に携わったことから「小西窯」とも呼ばれていましたが、十六代目の小西百助のとき、残念ながら窯の火が途絶えることになりました。

ちなみに…当センターの理事長は、小西家の十九代目にあたります。



13歳で御殿奉公に上がり、16歳から主人である九鬼隆義から、宣教師デービス家の子守りに遣わされました。明治8年に宣教師によって女学校神戸ホーム（神戸女学院の前身）が開校し、第1期生として卒業しました。

卒業後、宣教師一家とともにアメリカに渡った際、アメリカの幼児教育に接し、帰国後は神戸・広島・東京で幼児教育に携わり、日本の幼児教育の発展に貢献しました。

ちなみに…デービス一家に感化されたふじは、三田で最初の女性キリスト教徒となりました。

幼児教育の母
甲賀
ふじ



三田の偉人

発見

叙情詩人

三好 達治

明治33年大阪で生まれ、家庭の事情で6歳のときに三田にやってきました。病弱であったため三田小学校を長く休学するも、この間に味わった死の恐怖や孤独感が、彼の叙情詩人としての原点ともいわれています。詩以外にも翻訳や校歌、また三田の自然を舞台とした随筆も積極的に執筆し、数々の受賞歴があります。

ちなみに…妙三寺や車瀬橋の中央に碑が設置されています。

【車瀬橋の中央にある詩碑「祖母」】
祖母は蛍をかきあつめて
桃の実のやうに合せた掌の中から
沢山の蛍をくれるのだ

祖母は月光をかきあつめて
桃の実のやうに合せた掌の中から
沢山の月光をくれるのだ



気象観測の鬼

塚本 稔

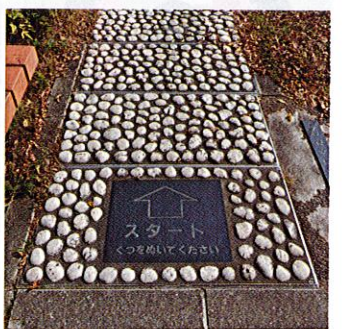
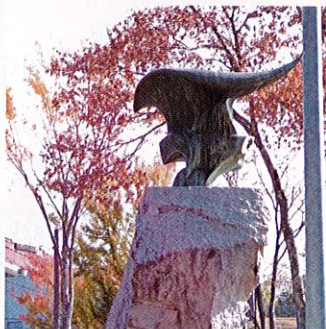
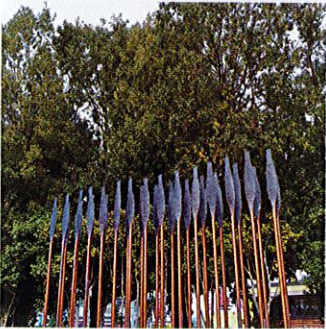
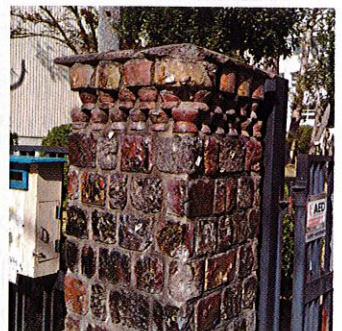
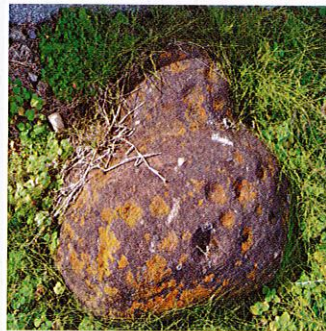
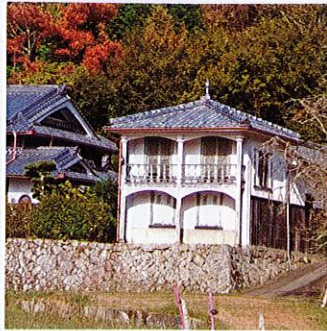


明治19年母子に生まれ、13歳で朝鮮半島に渡りました。朝鮮総督府観測所助手を経て、22歳で測候所長に就任しました。25歳のとき、視界が悪い氷点下40度の中、霧のような粒子が空中に漂っている現象を観測。それが、今でも世界共通の気象用語となる「アイスフォッグ（氷霧）」と名付けられました。

56歳で三田に戻ると、青野ダム付近で地域観測所を開設し、妻のハツノと20年間1日も欠かすことなく観測を続けました。この時の記録が今も神戸海洋気象台で活かされています。

三田 映えスポット～!

知ってて知らない新たな発見! ドコの何か分かりますか?



発見とは

誰も知らなかったことを
初めて見つけたこと だそう
でも 誰かがすでに知っていたとしても
発見した人にとって

初めて知ったことであれば

それも発見

そう考えると

人生は小さな発見の積み重ねかも

朝起きて 雨戸をあけたとき

家の前の池に

霧がかかっていたら

日中は穏やかに晴れること

飼猫の 眉毛とひげの左右一本ずつ

先っぽが チリチリっと

カールしていること

日常の小さな発見に

笑ったり 泣いたり 喜んだり

怒ったり

満足したり 不思議に思ったり…

2022年が始まりました





そんなん、自分で草刈り
しんかいな。

それぐらいなら、自分で草刈りをした
らどうですか。



へたら、ヨメはんと2人で半日づつ
かっためにやったらええがな。

それならば、奥さんと2人で半日づつ交代して
やればいいのかではないですか。



なんどいな!ほなシルバー人材セ
ンターに言うてみいな、がいよう刈
ってくれるで。

なんだそう言うことか、だったらシルバー人材センターに
頼んでみてはどうですか、上手に刈ってくれますよ。

うっとこの、びっとした畑やけんどな、
草ボーボーでさんこになっとんや。

我が家の、小さな畑のことだけど、草が茂って荒れて
いるんです。

朝とうから草刈り機かたげて、こんりに
一日やっても、かだらいわすだけやから
しやへん。

朝早くから草刈り機械を肩から装備して、一生懸命
一日やったところで、体を壊すだけなのでやりません。

こないだまで、どうぞこそぞそないしよっ
たんやけど、草が大きいゅうなったらあず
って、あずって。のりが急やし、あたけ
てまうがな。

この前まで、どうにかこうにかそうしていたのですが、
草が伸びすぎたら手間取って、手間取って。法面が
急角度なので、落ちてしまいます。



そら良かったな。

それは良かったですね。



朝とうから夜おそーまで、しっぽり
働いてはったもんな。

朝早くから夜遅くまで、十分ぐらい働かれて
いましたからね。



なしたこっちや、へたらシルバー人
材センターに入ったらどうや。生き
がいやら、ちびっとの小遣い稼ぎ
にもなるで。

なんと言うことだ、それならシルバー人材センターに
入会してはどうですか。生きがい作りや、少額の小遣
い稼ぎにもなりますよ。

うっとこのおやじ、こないだ定年にな
ってん。

私の父親が、先日定年を迎えたんです。

それがようないねん、仕事が一にな
ったら頭かががらんどになった言うて、げっ
そりしてたわ。

それが良くはないのです、仕事が無くなったら頭が
空っぽになったと言って、がっかりしていました。

せやから、することの一て、どこ行くに
もオカンのねきにくっついてんねん。

なので、することがないから、どこに行くにも母親の
傍を離れないんです。



●入会のご希望やお仕事のご依頼は、こちらにご連絡ください。

〒669-1323

三田市あかしあ台5丁目32番2号

公益社団法人 三田市シルバー人材センター

TEL : 079-564-7501 FAX : 079-553-1300

HP : <http://www.sandasc.org/>

e-mail : sandasilver631015@sandasc.org

